

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
YIC情報ビジネス専門学校		平成1年8月24日		校長 中川 達也		〒 754-0021 (住所) 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8354		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人YIC学院		平成19年4月1日		理事長 井本 浩二		〒 754-0021 (住所) 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程		情報ビジネス科		商業実務専門課程 平成26年1月28日文科科学省 告示6号	-		
学科の目的								
実社会で活躍する力やネットビジネスを構想する力に代表されるICTを利活用して社会に貢献する人材を育成することを目的とする。								
認定年月日								
平成27年2月25日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技
2	昼間	1740	480		1680	0	0	0
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数		総教員数
40人		53人		1人	3人	6人		9人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌年3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 【学生便覧 学習の手引き 5. 成績評価】 ①成績評価は、試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価する。 ②評価結果は、秀、優、良、可、不可の5段階とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。 判定評価点成績GP成績評価内容 合格100～90点秀4到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている 89～80点優3到達目標を十分に達成している 79～70点良2到達目標を達成している 69～60点可1到達目標を最低限達成している 不合格59点以下不0到達目標を達成していない 未履修—各科目について欠課が授業時数の1／3を超えるもの ※GPAの対象としない ③評価結果が不可の者に対し再試験を実施することがある。 再試験実施後、試験の結果の代わりに再試験の結果を用いて評価をやりなおす。ただし、秀、優、良相当の成績であっても評価結果は可とする。 ④年度末に通年の評価結果の一覧を成績表として、保護者(保証人)に送付する。 ⑤卒業年次生は、就職活動に際し成績証明書の必要な場合がある。そのため、申請のあった者については各期末終了日前に、受講中の教科科目について中間評価を行う。その際、確認テストや模擬テスト、レポート、出席状況等をもとに評価を行う。		
長期休み	■学年始め:4月1日～4月7日 ■夏 季:7月27日～8月30日 ■冬 季:12月22日～翌1月5日 ■学 年 末:2月22日～3月31日				卒業・進級 条件	【学生便覧 学習の手引き 7. 進級・卒業】 ①進級要件 年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める当該年次の教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価が すべて可以上であり、進級必要単位数を修得している。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。 ②卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価が すべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。		

学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 (出席状況不良者への対応) ・担任は原則として1か月ごとに担当学年の出席状況を確認する。 ・担任は科目の出席率が8割を満たない者は、学生と面談を行い、その結果を学科責任者及び職員会議で報告する。必要に応じて学生指導及び保護者連絡を行う。 (長期欠席者への対応) ・上記の対応に加え、欠席が長期に渡る者については、電話連絡を密にし、必要に応じて学生及び保護者を召喚し、面談を行う。 ・学生及び保護者への対応を行った時は、その内容を学生個人記録に記録する。	課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会(学生自治組織・学園祭の実行委員会等を行う) ■サークル活動：																																														
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 株式会社ファーストリテイリング、大村印刷株式会社、株式会社弘法、株式会社ブリヂストン、株式会社フオリウム ■就職指導内容 ・1年次より企業研究と仕事理解の徹底 ・個別面談定期的実施 <table><tr><td>■卒業者数</td><td>14</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職希望者数</td><td>14</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職者数</td><td>12</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職率</td><td>85.7</td><td>%</td></tr><tr><td>■卒業者に占める就職者の割合</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>85.7</td><td>%</td></tr></table> ■その他 ・進学者数：〇人 (令和 4 年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)	■卒業者数	14	人	■就職希望者数	14	人	■就職者数	12	人	■就職率	85.7	%	■卒業者に占める就職者の割合				85.7	%	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) <table><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>ITパスポート</td><td>③</td><td>12人</td><td>7人</td></tr><tr><td>Excel1級</td><td>③</td><td>9人</td><td>9人</td></tr><tr><td>Word1級</td><td>③</td><td>6人</td><td>6人</td></tr><tr><td>Access2級</td><td>③</td><td>9人</td><td>8人</td></tr><tr><td>簿記能力検定試験 3級</td><td>③</td><td>12人</td><td>10人</td></tr><tr><td>Webクリエイター能力認定試験 スタンダード</td><td>③</td><td>14人</td><td>10人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 ・第17回若年者ものづくり競技大会ウェブデザイン職種 銀賞 ・チャリティー年賀状 全国学生デザインコンテスト2023 入選 ・第17回山口県広告大賞「学生部門」入賞	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ITパスポート	③	12人	7人	Excel1級	③	9人	9人	Word1級	③	6人	6人	Access2級	③	9人	8人	簿記能力検定試験 3級	③	12人	10人	Webクリエイター能力認定試験 スタンダード	③	14人	10人
■卒業者数	14	人																																															
■就職希望者数	14	人																																															
■就職者数	12	人																																															
■就職率	85.7	%																																															
■卒業者に占める就職者の割合																																																	
	85.7	%																																															
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																														
ITパスポート	③	12人	7人																																														
Excel1級	③	9人	9人																																														
Word1級	③	6人	6人																																														
Access2級	③	9人	8人																																														
簿記能力検定試験 3級	③	12人	10人																																														
Webクリエイター能力認定試験 スタンダード	③	14人	10人																																														
中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 4.6 % 令和4年4月1日時点において、在学者43名 (令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者41名 (令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・1・2年の年初にQU(楽しい学校生活を送るためのアンケート)実施 ・クラス担任による定期的な面談 ・年1回保護者面談・3者面談を実施(8月) ・状況に応じて保護者への電話連絡、個別面談を行う。																																																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ※有の場合、制度内容を記入 指定校推薦奨学生制度(授業料5万円減免)、自己推薦奨学生制度(授業料3万円減免)、社会人特待生制度(授業料5万円減免)、進級時成績優秀者奨学生制度(1～10万円給付)、YICファミリーサポート(授業料5万円減免)、YIC卒業生授業料サポート(授業料10万円減免)、遠距離サポート(毎月3千円支給)、ひとりぐらしサポート(毎月0.5～1万円支給)、高度情報系試験合格奨励金制度(1万円～30万円)、情報系国家試験受験料サポート制度(7,500円) ■専門実践教育訓練給付：有り ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 2名																																																
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体：〇〇〇〇 受審年月：〇年〇月 評価結果を掲載したホームページURL 〇〇〇〇																																																
当該学科のホームページURL	https://www.yic.ac.jp/ib/course/biz/																																																

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした員会(教育課程編成委員会)を置く。

・審議事項は次の事項とする:カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。

・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。(以上 学校法人YIC学院 教育課程編成委員会規則 より抜粋)

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・「学校法人YIC学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」(学校法人 YIC学院 教育課程編成委員会規程第2条より)

・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。

・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日

名 前	所 属	任期	種別
阿部 誉久	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター センター長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
村田 良輔	株式会社スワークス 代表取締役	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
伊藤 恵一	株式会社きらら 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
中川 達也	校長		
河津 道正	副校長		
飯田 直樹	事務長		
森野 茂弘	教務課長		
山本 桂子	教務係長		
赤木 康二	情報ビジネス科 学科長		
辻村 忠幸	情報ビジネス科 教員		

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間2回(6月～8月、2月～3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月30日 11:00～12:00

第2回 令和6年2月 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
・職業観を養成するために社長の話を聞く機会を設けるべきとの助言を頂き、実際に企業の社長を招いての講話を聴く機会を設けている。
・デザイン技法について習得しておくべきとの助言を頂き、情報ビジネス科の学生対象に「なるほどデザイン」の教本を使ってデザインの指導を行っている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
・山口県内の、学生の住居近くの施設を選定している。
・学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
・指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
・実習、演習においては企業間と「講師派遣契約書」、科目について「覚書」を交わしている。
・実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する成績
評価表と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
PBLⅠ/PBLⅡ	キャリア教育・起業家育成などを行っている株式会社ジブンノオトとカードゲーム形式で楽しく自己理解の促進や起業家マインドを育てる「ジブントレカ」のブラッシュアップと広報活動を行う。	株式会社ジブンノオト
ビジネス実践Ⅰ	学校と実業界の事業所の協力により、学生に企画、計画、開発、販売のすべてを経験させ、ものづくりの楽しさ、コミュニケーションを取りながら働くことの喜びを味わい自分を信頼して、積極的に活動することができるようになる。	ヤフー株式会社
ビジネス実践Ⅱ	学校と実業界の事業所の協力により、学生に企画、計画、開発、販売のすべてを経験させる。ものづくりの楽しさ、コミュニケーションを取りながら働くことの喜びを味わう自分を信頼して、積極的に活動することができるようになる。	一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会（通称 Dream） 株式会社 True Data
デザイン総合演習Ⅰ	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会
デザイン総合演習Ⅱ	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

(教員の研修等の基本方針)

- ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
- ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。
- ・資格取得のための研修を推奨している。

(2)研修等の実績(前年度分)

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	Kintone研修	連携企業等:	サイボウズ株式会社
期間:	令和5年2月2日～令和5年3月23日 16:00～17:30	対象:	教員
内容	Kintoneの特徴、操作方法を学習し、授業展開するためのKintoneを使った業務システム開発方法について習得する。オープンキャンパで、高校生向けに実施する体験的に実施する方法について		
研修名:	初めての3DCG 基本的な使い方からモデリングやアニメーションまで【入門講座】(UDEMY)	連携企業等:	UDEMY
期間:	令和4年6月1日 13:00～17:00	対象:	教員
内容	Blender基本操作、3DCGモデリング技法について動画視聴し、操作を習得する。		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	FD(コマシラバスの協働的改善・作成)	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和4年12月27日 13:30～15:00	対象:	教員
内容	自分のコマシラバスを魅力的・効果的にするための工夫・改善を自らの知見に加え、仲間のアイデアを反映しながらコマシラバスの作成を継続的に行う必要性を実感して、今後担当科目のより効果的なコマシラバス作成を意識的に行う。		
研修名:	令和4年度現職教職員・人権教育研修会	連携企業等:	一般社団法人 山口県専修学校各種学校協会
期間:	令和4年8月23日 14:00～16:50	対象:	教員
内容	職業教育を行う上で必要な指導方法等について研修するとともに、指導上の具体的な問題点について検討することにより、教師の指導のあり方を究明する。また人権教育の諸問題についての理解を深める。		

(3) 研修等の計画(今年度分)		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	LX人材育成 部会の人材育成ビジョン、企業におけるデジタル推進状況	連携企業等: 一般社団法人 日本RPA協会
期間:	令和5年6月12日 16:30～17:50	対象: 教員
内容	ビジネスプロデューサーによる企業における AI 活用について、地域企業の RPA 事例発表、RPA 活用プロジェクト模擬体験として学生向けに実施したワークショップの方法	
研修名:	情報セキュリティ研修	連携企業等: 学校法人YIC学院
期間:	令和5年8月25日13:00～15:00	対象: 教員
内容	情報セキュリティに関する情報提供と簡単なグループワークを通して、日常業務の中で気を付けるポイントの周知徹底	
研修名:	教職員向け ChatGPT講座 基礎から応用まで	連携企業等: 学校法人YIC学院
期間:	令和5年8月21日 13:00～15:00	対象: 教員
内容	ChatGPTに代表される生成系AIについての概要。 ChatGPTを業務で使用する場合の可能性と留意点 ChatGPTの簡単な利用	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	アンラーニング研修	連携企業等: パーソル総合研究所
期間:	令和5年7月26日 10:00～16:00、8月31日 13:00～17:00	対象: 教員
内容	①個人として:「新たな学びをしていく上での考え方」の習得、 ②個人として:今後のキャリアや目標管理などの計画立案が可能、 ③組織として:YICグループのメンバーが同時期に学ぶことで学びのコミュニティ化ができる	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめ報告書を作成していただく。
・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。
これらについて年報・ホームページ等で公表する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2)学校運営	7 管理運営
(3)教育活動	2 教育の内容
(4)学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	3 教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	5 学生支援
(8)財務	8 財務
(9)法令等の遵守	7 管理運営
(10)社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告を
まとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。
またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。
今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
山崎 真里	情報工学科 在校生 保護者	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	保護者代表
高村 奈生人	ビジネス系学科 卒業生 株式会社三知 山口支店	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生
阪上 誠	株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 新卒採用部 部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業関係者(情報工学科)
阿部 誉久	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	職能団体(情報ビジネス科)
臼渕 厚史	株式会社 山口グランドホテル 代表取締役社長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業関係者(国際ホテル・ブライダル学科)
兼重 顕治	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業関係者(医療事務学科)
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業関係者(ペット総合学科)
縄田 道孝	学校法人 鴻城義塾 山口県鴻城高等学校	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	高校関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

公表時期: 令和5年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校の評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

公表時期: 令和5年7月31日

授業科目等の概要

(商業実習専門課程 情報ビジネス科)											
必修 選択 修得	必修 選択 修得	自由 選択	授業科目名	授業科目概要	配 分 (単位)	学 期	授業方法				
							講 義	演 習	実 習・ 実 技	通 所 内 外	教 員 等 の 連 携
1	○		ビジネスマ ナーⅠ	社会人として求められる基本的なビジネスマ ナーを実践できる。	1 前	30	2	○	○	○	
2	○		ビジネスマ ナーⅡ	社会人として機能的なビジネスマナーが実践 できる。	1 後	30	2	○	○	○	
3	○		電話応対Ⅰ	ビジネスの現場で必要となる、電話応対記述 に向けて言葉遣いや発声、声のトーンの練習 をする。	1 前	30	2	○	○	○	
4	○		電話応対Ⅱ	電話応対技能検定に向けて、技能を磨くため ロールプレイングを交えて練習する。	1 後	30	2	○	○	○	
5	○		パソコンスキ ルⅠ	ワープロソフトを用いて基本的な文書作成が できる。	1 前	60	4	○	○	○	
6	○		パソコンスキ ルⅡ	表計算ソフトを用いて、基本的なワークシー トが作成できる。	1 後	60	4	○	○	○	
7	○		色彩概論Ⅰ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的 にすることで、心理的、生理的影響の知識を 身につけて配色調和のバランスをとる事ができ る。	1 前	30	2	○		○	
8	○		色彩概論Ⅱ	他の基本的な特性等を理解し、配色を効果的 にすることで、心理的、生理的影響の知識を 身につけて配色調和のバランスをとる事ができ る。	1 後	30	2	○		○	
9	○		PRⅠ	グループワークを通して、プレゼンストーミ ングやディスカッション、プレゼンタショ ンのコミュニケーションスキルを身につけて いく。	1 前	60	4	○	○	○	○
10	○		PRⅡ	自治体が公開するオープンデータを活用し て、課題解決のためのビジネスを学習し、実 習案をポスターと企画書をチャレンジオー プンコンテストに出展する。	1 後	60	4	○		○	○
11	○		デジタル写真	画像データの特性を理解し写真画像データの 状態により適切に色の彩度、明度、色合いの 調整をすることが出来る。	1 前	60	4	○	○	○	
12	○		イラスト制作	Illustratorの操作を理解しイラストの制作 ができる。また印刷に使用する知識を身につけ てチラシ、フライヤー、リーフレットの作成 ができる。	1 後	60	4	○	○	○	
13	○		Web基礎	Webページの提供する機能を理解し、情報映 像だけでなく情報発信も兼ねて効果的なWeb の制作ができる。	1 前	60	4	○	○	○	
14	○		Webデザイ ンⅠ	HTMLのタグを理解しタグを使った文書構 成が出来る。CSSの方法を理解し、CSS を割り当てて、WEBページデザインが 出来る。	1 後	60	4	○	○	○	
15	○		テクノロジ Ⅰ	コンピュータを構成する電子機器や機械部 品について学習し、故障原因や基本故障とそ の故障原因について理解することで、コン ピューターの動作原理を理解し、ハードウェア 構成にあわせて操作ができる。また、目的に あわせてシステムを構築することができるこ と。	1 前	60	4	○		○	
16	○		ビジネス実 Ⅰ	学校と実業界の事業所の協力により、学生に 企画、計画、開発、販売のすべてを経験さ せる。ものづくりの楽しさ、コミュニケーション を取りながら働くことの喜びを味わう。自 分を積極的に活動することができるこ とになる。	1 後	30	6	○		○	○
17	○		テクノロジ Ⅱ	ネットワークの基本として伝送手段やLAN、 WAN、情報通信サービスなどの内容を理解 し、実際に応用できること。また、ネット ワークをセキュリティの面からも学習し、実 用的なセキュリティ対策が実施できるこ と。	1 後	60	4	○		○	
18	○		ビジネス会計 Ⅰ	簿記理論の基礎的な個人経営規模の事業所の 簿記に対応できる知識を習得し、帳簿の管理 を適切に行うことができる。	1 前	30	2	○		○	
19	○		ビジネス会計 Ⅱ	簿記理論の基礎的な知識、技術を習得し、中 規模経営の株式会社の簿記、帳簿の管理を 適切に行うことができる。	1 後	30	2	○		○	
20	○		CG概論	2D/3D/VR/ARに関連する基本的知識を 体系的に習得し、ゲーム制作/グラフィック 制作やWEBページのコンテンツ作りの基 礎知識として活用する。	1 前	60	4	○	○	○	
21	○		デジタルコン テンツⅠ	自らデジタルコンテンツの企画を立案し、ラ フおこし、レイアウト、全体デザインを考案 できる。	1 後	60	4	○	○	○	
22	○		ビジネスマ ナーⅢ	就職活動に伴うクルートスタイル、面接時 の姿勢を実践できる。	2 前	60	4	○	○	○	
23	○		Webデザイ ンⅡ	Webサイトデザインの仕様書作成、写真、 イラスト等のコンテンツ準備、Webサイトの 構築することができる。	2 前	60	4	○	○	○	
24	○		デザイン総合 演習Ⅰ	17技術を駆使し、チーム制による開発を行 いチーム内のメンバーは互いの強みを活か し、高い水準となるソフトウェアや映像作り に挑戦して取り組みができる。	2 後	60	4	○	○	○	○
25	○		デザイン総合 演習Ⅱ	17技術を駆使し、チーム制による開発を行 いチーム内のメンバーは互いの強みを活か し、高い水準となるソフトウェアや映像作り に挑戦して取り組みができる。	2 前	60	4	○	○	○	○
26	○		デジタル映像 Ⅰ	TVやインターネットにおいて映像、音楽を配 信するために必要な、映像に関わる基礎知識 を学習し基本的な動画制作ができる。	2 後	90	6	○	○	○	
27	○		ビジネス実 Ⅱ	学校と実業界の事業所の協力により、学生に 企画、計画、開発、販売のすべてを経験さ せる。ものづくりの楽しさ、コミュニケーション を取りながら働くことの喜びを味わう。自 分を積極的に活動することができるこ とになる。	2 前	30	6	○		○	○
28	○		ビジネススキ ル	他者との協力を通して、チームとしての目標 の達成を実現できるようにすること。また、 チームで働くことの意義を認識し、社会人 としての働くための意識付けができること。	2 後	30	6	○	○	○	
29	○		データベース	データベースに関する基本的な概念を理解 し、あらかじめ構築されているデータベー ス上で、適切なデータ処理ができること。	2 前	60	4	○	○	○	
30	○		マーケティング 演習	消費者購買情報の売り上げ情報をもとに市場 における購買行動を分析し、データから市場 ニーズを探り、新たなビジネスを考案してい くことができる。	2 後	90	6	○	○	○	
31	○		Webプログ ラミング	JavaScriptを使ったWebサイトの動的コン テンツ制作を行い、フロントエンドアプリ開発 ができる。	2 前	60	4	○	○	○	
32	○		文書作成・表 計算処理	ワープロソフトを用いて、応用的な文書作 成ができる。表計算ソフトを用いて、応用的な ワークシートの作成ができる。	2 後	90	6	○	○	○	
33	○		デジタルコン テンツⅡ	自らデジタルコンテンツの企画を立案し、ラ フおこし、レイアウト、全体デザインを考案 できる。	2 前	90	6	○	○	○	
34	○		企画編集Ⅰ	アイデアを実現するためのプロトタイプデザ インや、商品用のデザインパッケージの企画 と制作を行うことができる。	2 後	60	4	○	○	○	
35	○		企画編集Ⅱ	アイデアを実現するためのプロトタイプデザ インや、商品用のデザインパッケージの企画 と制作を行うことができる。	2 前	60	4	○	○	○	
36	○		デジタル映像 Ⅱ	シナリオを記述して、3000アニメーション ソフトを使ってデジタルコンテンツの制作を 立案に制作できる。	2 後	90	6	○	○	○	
合計					36	科目	2160				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件	学科より a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評 価がすべて可となり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。 必修科目1740時間	1学年の学期区分	2期
	履修方法	履修方法は講義、演習、実習	1学年の授業期間 16週

(留意事項)

1. 一の授業科目について、講義、演習、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2. 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。